

科目名	地域・在宅看護概論 I (暮らしを支える看護)	1年次	2単位 30時間	講師
科目目標	1. 個人・家族を支える環境としての地域を理解する 2. 個人・および家族の暮らしを理解する 3. 自らの健康を維持できるよう継続的に暮らしを支える看護を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 地域で生活する人々の理解 1) 個人の生活構造と地域特性 (1) フィールドワークによる地域の特徴の理解 (機構、交通、災害、年齢構成、疾病構造、保健医療機関などの社会資源) (2) 人々の暮らし、生活の理解 2) 健康支援活動（ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア） (1) 我が国の健康関連施策と地域の健康関連施策 2. 家族の役割 1) 家族のとらえ方 (1) 様々な家族の形、これからの家族の在り方 (2) 家族の理解のための基礎理論（家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論） 2) 家族の機能と役割 (1) ファミリーライフサイクル 3. 地域の生活環境が健康に与える影響 1) 文化的環境 2) 社会的環境 3) 自然環境 4. 地域・在宅看護論の対象 1) 個人・家族、集団、組織、地域 2) 健康状態（健康の良い状態～終末期まで） 3) 発達段階（胎児期～老年期まで） 5. 健康と暮らしを支える看護 1) 地域包括ケアシステムにおける看護の役割 2) 自助、互助、共助、公助の意義と役割 3) 家族を支える看護 4) 多職種連携、協働の意義と方法 6. 看護が提供される多様な場の理解 (1) 都市部と農村部の地域社会構造 (2) 行政における地域看護活動 (3) 働く場における産業看護活動 (4) 学校保健分野における看護活動 (5) 介護予防分野における看護活動 7. 地域・在宅看護論に関連する法制度と施策 1) 医療保険、介護保険制度と施策 2) 訪問看護における法と制度 3) 権利保障に関する法や施策 4) 各保健、障がい者等に関する法と施策			

	<p>8. 地域で暮らし続けることを支援するための、マネジメント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己決定支援 (ACP 含む) 2) ケアマネジメント 3) 保健行動と行動変容 4) インフォーマルネットワークの維持 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域とのつながりの意味 (2) インフォーマルネットワークの実際 <p>【演習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドワーク (2時間) <ol style="list-style-type: none"> グループワーク (2時間)、発表 (1時間)
15	試験
評価方法	筆記試験
教科書	地域・在宅看護の基盤 医学書院、基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社
参考書	国民衛生の動向、国民の福祉と介護の動向
留意点	地域特性、健康支援活動についてはフィールドワークを通して地域の実態を理解する例；地域広報誌を活用した実態調査ワーク 地域の町内会活動への参加型ワーク 集合住宅の自治会活動参加型ワーク

科目名	地域・在宅看護概論Ⅱ (在宅療養を支える看護)	2年次	1単位 15時間	講師
科目目標	1. 地域における在宅看護を理解する 2. 在宅看護における看護の機能と役割を理解する			
回数	教 育 内 容			
	1. 地域における在宅看護 1) 在宅看護の位置づけ 2) 在宅看護が提供される場 (1) 外来看護 (2) 訪問看護 (3) 施設での看護 (4) 通所サービスでの看護 (5) 訪問看護 2. 社会の変化と在宅看護 1) 在宅看護を必要とする社会的背景 (1) 在宅看護の歴史的変遷 2) 社会の要請から求められる看護 (1) 在宅看護の今後の動向 3. 在宅看護の対象と目的 (1) 在宅看護の対象 (2) 法制度からみた対象 (3) ライフサイクルからみた対象 (4) 疾患からみた対象 (5) 障害レベルからみた対象 (6) 状態別、状況別からみた対象 (7) 在宅看護の定義と目的 4. 在宅看護の特性 5. 在宅看護の機能と役割 6. 在宅における自己決定と生活の自立支援 (1) 療養者の権利擁護 (2) アドボカシー ・ 成年後見制度 7. 在宅介護者の理解と健康支援 1) 在宅療養者の想いと家族介護者の想い 2) 介護している家族のアセスメント ・ 家族アセスメントモデル 3) 家族関係の調整 4) 介護方法の指導 5) 介護している家族の健康支援 (1) レスパイトケア (2) ピアサポート 8. 在宅看護に関わる法令・制度の活用			
8	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	地域・在宅看護の実践 医学書院、基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社			
参考書	国民衛生の動向			
留意点				

科目名	地域・在宅看護援助技術	2年次	1単位 30時間	講師
目 科 標 目	1. 在宅看護活動を支えるコミュニケーション技術を習得する 2. 在宅看護に共通する技術を習得する 3. 在宅における医療管理を必要とする対象の看護について理解する			
回 数	教 育 内 容			
1～14	1. 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> 1) 療養者や家族を支援するためのコミュニケーション技術 2) 信頼関係を築くためのコミュニケーションのポイント 2. 在宅看護に必要な技法 <ul style="list-style-type: none"> 1) ヘルスアセスメント 2) 自立支援技術 3) 安全を守る技術 4) 感染予防 5) 災害に対する準備と対応 3. 在宅における医療管理を必要とする対象の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 褥瘡の予防とケア 2) 尿道留置カテーテル 3) ストーマ（人工肛門・人口膀胱） 4) 経管栄養法 5) 在宅中心静脈法（HPN） 6) 非侵襲的陽圧換気療法（NPPV） 7) 在宅酸素療法（HOT） 8) 在宅人工呼吸療法（HMV）と排痰法 9) 薬の自己管理支援 (1)化学療法 (2)放射線療法 10) 疼痛緩和 11) 排便コントロール 12) 腹膜透析 4. 演習 <ul style="list-style-type: none"> 初回訪問（2時間） 在宅酸素療法（2時間） 排便コントロール、経管栄養法（2時間） 			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	地域・在宅看護の実践 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	地域・在宅で療養する対象の看護	2年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 在宅で療養する対象への看護の展開方法の特徴を理解する 2. 療養の場の移行に伴う看護を理解する 3. 在宅で療養する対象の状況に合わせた看護を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～3	1. 在宅看護の展開方法 1) 情報収集とアセスメント 2) 家族機能評価 3) 在宅看護の目標設定と看護計画 2. 療養の場の移行に伴う看護 1) 退院支援・退院調整 2) 入退院時における医療機関との連携 3) 入退所時における施設との連携			
4	3. 訪問看護ステーション利用のしくみ 1) サービス利用までの流れ 2) 訪問看護サービスの提供			
5～13	4. 在宅療養者の状態に応じた看護 1) 在宅で療養する高齢者とその家族 2) 在宅で療養する小児とその家族 3) 精神障害で療養する対象者とその家族 4) 難病で療養する対象者とその家族 5) 慢性疾患で療養する対象者とその家族 6) 終末期にある対象者とその家族			
14	5. 療養生活の中で起こる問題と対策			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	地域・在宅看護の実践 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	地域・在宅看護論演習	2年次	1単位 30時間	講師
科目目標	1. 在宅の対象者への日常生活援助と対象の機能の維持・向上に向けた支援を理解する 2. 在宅看護の展開方法を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～6	1. 在宅における生活支援の方法 1) 日常生活の援助 (1)呼吸に関する在宅看護 (2)食生活・嚥下に関する在宅看護 (3)排泄に関する在宅看護 (4)移動・移乗に関する在宅看護 (5)清潔に関する在宅看護 2) 介護用品の活用			
7～13	2. 在宅における身体機能の維持向上に向けた援助 1) 身体機能の評価 2) 家庭で行うリハビリテーション 3) 多職種との連携			
14	3. 事例による看護過程の展開 4. 演習（2時間） 摘便			
15	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題、演習による評価			
教科書	地域・在宅看護の実践 医学書院			
参考書	看護診断ハンドブック 医学書院			
留意点	立案した看護計画に基づいた援助を演習する			

